

POPを作成し、掲示するのはどうだろうと考えました。スーパーとの差別化を図るという意味でも、POPを有効的に利用し生産者や生産地の存在が見えるような売り場をつくるということは重要ではないかと思いません。次に(2)の名物となる商品の開発を行うという提案については、スーパーとの差別化や顧客の新規獲得・リピーターの増加を目的として「道の駅ひわさでないと買えない商品」を開発してはどうかと考えました。道の駅の近くには日和佐駅と薬王寺があり、地元の方はもちろんお遍路さんや観光客の方も足を運びやすい立地になっています。

道の駅の良いところをさらに伸ばすためにも、新しい仕掛けが必要であると思います。最後に(3)の飲食店に関しては、私が道の駅ひわさの物産館のレジや観光協会の案内所にいるときに、お客さんから度々「道の駅の中に食事ができるお店はないのですか?」と聞かれたことが気づくきっかけとなりました。道の駅には家族連れなど、複数人で来られるお客さんが多い印象を受けました。屋外のベンチでは人目が気になることもあると思います。道の駅の滞在時間を長くし、道の駅でお金を使ってもらうということも考え、周囲の飲食店が開店していない時間の

みの営業や小規模の店舗でも「室内でゆっくり食事ができる場所」が必要ではないかと思えます。

さらに、観光や観光に関することについても提案をさせていただきますました。おもな内容としては(1)SNSの投稿内容や写真の見せ方にも工夫が必要である。②観光情報発信の新たな選択肢としてスマートフォンアプリの配信も考えてみてはどうだろうか。という2つです。(1)のSNSに関しては、美波町ですすでに情報発信のツールとして利用されているようですが、単に写真と文章を投稿するだけでは拡散力が乏しく持て余してしまふ可能性がります。そこで、現状より一歩前に進むためには投稿内容に工夫が必要ではないかと感じました。同じ風景の写真であつても、構図や色彩によって大きく印象が変わります。また美波町のみならずにとつては、何でもないような場所が、町外の人から見ると魅力的に映る可能性もあります。町外・県外の人へ向けたアピールとして、美波町をいかに魅力的に見せるかということを考えてSNSを運用していく必要があるのではないかと思ひます。そして、(2)のスマートフォンアプリの配信についてですが、メリットは観光情報や町の飲食店・宿泊施設・

WiFiスポットなどの情報をひとつにまとめることで、スマートフォンさえあれば気軽に情報を得ることができるといふ点です。観光パンフレットをいくつも鞆から取り出して開き、該当するページを探すより簡単です。また、アプリは一度入ると自らが消さない限りは情報が得られ続けるといふこともメリットではないかと思ひます。しかし、アプリの存在を知ってダウンロードしてもらわないことには始まりません。そのため、この提案は少し現実的でないかもしれません。

最後に、もうひとつ美波町へ提案をさせていただきました。それは「ふるさと納税の返礼品制度を利用して観光や宿泊の補助になるような返礼を用意し、美波町に来てもらうサイクルを作る」といふものです。ふるさと納税といふのは、美波町のことを知らない人にも知ってもらえるきっかけとなる可能性が大いにあります。地元の特産品のみをお返しすることは確かに納税者にも地元にもメリットがあるのだと思ひますが、返礼品を受け取るだけでそのサイクルが終わってしまうかもしれませぬ。そこで、ふるさと納税の返礼品制度を利用して美波町に来てもらうサイクルをつくつてはどうだろうと考えました。その

ように考えた理由は、美波町は海・山・川・観光スポットがまとまっている町であるといふことに気づいたからです。これは、良い資源・アピールポイントであると思ひます。それと同時に、美波町に来る目的があらかじめ決まっている人たちに、それ以外でも美波町内に滞在してもらえようというアプリが必要であると考えます。正直に申しますと、私はこのインターン事業に応募する前は美波町のことを全く知りませんでした。しかし、実際に来てみて多くの体験をさせていただく中で、やはり実際にこの目で見えてみないと感ひること・知ることのできない魅力



がたくさんあると感じました。だからこそ、今回私がお世話になったインターン事業よりも気軽に美波町での生活を体験できる機会があると良いのではないかと思ひます。

四、終わりに

最後に、2週間という長いようでも短かったインターンでは、何度も書いていますが、初めての経験をたくさんさせていただきました。厄除け橋から見える景色や夜にライトアップされた薬王寺・うみがめの来る大浜海岸・独特の趣があるあわえ・そしていつもあたたかく接してくださつた美波町のみなさま。2週間であつた皆さんの「好き」を見つめることができました。こんな素敵な美波町とご縁をいただけたいことに感謝しています。今後も美波町を応援していきたいですし、どのような形ででも関わつていけたらと思つております。そして美波町外はもちろんですが、まずは美波町のみならず、町の魅力に気づき、今よりもさらに好きになつて「この町に生まれてよかった」と思えるような町になつてほしいと思つております。本当にありがとうございました。

